

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年7月19日のビデオメッセージ（要約）>

子どもの頃、両親が姉と私をサーカスに連れて行ってくれました。ライオンやピエロに目を見張りましたが、一番のハイライトは空中ロープの綱渡りでした。柱と柱の間に張られた細いロープの上を曲芸師が歩きました。私はポカンと口を開け、手に汗を握りながら見上げました。もし足を踏み外したら、と思うと、怖くなりました。曲芸師は長い棒を横にして手に持ち、バランスを取りながら、一歩ずつ踏み出しました。綱渡りで大切なのは、体幹をしっかりと持ち、棒を持つことで重心を低く保ち、バランスを取ることです。パウロはコロサイの教会の信徒たちに手紙を書き送り、キリストを中心に据えて生きるように、と勧めました。クリスチャンは、困難な境遇の中で、バランスを取りながら歩みます。皆さんも今、困難な状況の中で、足を滑らせたら落ちるかも、と感じているかもしれません。曲芸師は、体幹の中心をしっかりと取ることで、落ちることなく歩むことが出来ました。私たちもキリストを生活の中心にすることで、しっかりと歩むことができます。コロサイ 1:15-23 をぜひお読みください。「御子は初めの者、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、すべてのことにおいて第一の者となられたのです…ただ、揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。」 私たちは、神の言葉である聖書を手に持って、人生を一步一步進みます。聖書は、私たちに希望を与え、それにより、私たちは人生のバランスを取ることができるのです。私たちは、宇宙の初めからおられたキリストに信頼します。人生の中で何か困難が起きたなら、どうか、今日の聖書の言葉を思い出してください。特に 17 節に、万物は御子によって創造され、御子によって保たれている、と記されています。信仰をもって宣言しましょう、「イエスが私と共に歩んでくださる」と。私たちは、自分の力や才能をあてにするではありません。復活した主、唯一の主であるイエス・キリストにより頼んで、生きるのです。どうか、あなたの人生の中心に、いつもイエス様を置いてくださいますように。